

コロナ禍に建築中の方向けチェックリスト

✓	①仕様で未確定のものはないか？ 仕上表や仕様書で「未確定」があれば早急に打合せを。 そもそも仕上げ表や仕様書がない場合は作成を依頼。
✓	②上棟式や電気設備打ち合わせなど通常は行なうのに、 コロナ禍だからと中止になるものはないか？ 通常なら施主も現地に訪問する打ち合わせなどが無くなるのかどうか。
✓	③工事の進捗に遅れは出ていないか？ 遅れていれば、どのくらいの遅れで今後の見通しはどうかを確認。 工程表をもらっていない場合は、提出のリクエストを。
✓	④工期が著しく短くなっていないか？ 工事は遅れているのに引き渡しが変わらない場合、工期が極端に短くなっていないか。 工事を急ぐ場合には、具体的にどうするのかも確認を。
✓	⑤職人は予定通り確保できているか、入れ替わりは激しくないか？ 職人が足りていない、確保に苦労している場合、工事を慌てて行われぬよう注意。
✓	⑥現場監督の巡回ペースは変わらないか？ 通常は最低週1回以上の現場巡回が必要。 行けない週があったり、頻度が下がっていたら改善リクエストを。
✓	⑦現場でのコロナ対策は？ 国土交通省が出す建設業向けのガイドラインなどを参考に対策しているか。 現場できちんと実行できているか。
✓	⑧内覧会や施主（竣工）検査日は決まっているか？ コロナを言い訳に引き渡しぎりぎりにならないか。そもそも開催予定はあるか。 仮でもいいので工程表に日付を入れておいてもらう。
✓	⑨内覧会から引き渡しまでに最低1週間の余裕はあるか？ 引き渡しの1週間以上前、できれば2週間前までの開催が理想的。
✓	⑩引き渡しが遅れる場合、その理由は？遅延損害金等の取扱いは？ コロナ禍以外の原因で遅延していないか。 別の原因であれば、損害遅延金等の取扱いを確認。

工事期間に余裕がないと、いずれ隠れる構造や防水、断熱などの工事や床下や屋根裏など見えづらい部分の工事にしわ寄せが出がち。ご心配なときは、さくら事務所にお気軽にご相談ください。



不動産の達人
株式会社さくら事務所

TEL : 050-1745-3309

(受付時間10:00~18:00) 土日祝も営業

<https://www.sakurajimusyo.com>